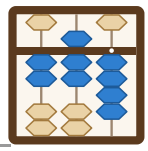
そろばん



見取算の 赤字と 補数

ステップ 4／10

ずかい・れんしゅう　がつ　にち　なまえ

ポイント

ひけない ときは 1を かりて ひき、補数を よんで「−」を つける。

きまり　① かりる くらいは 問題の 数を ぜんぶ 見て きめる（いちばん けたの 多い 数の 1つ 上。6けたの 数が あれば 百万）。とちゅうの マイナスも かりた 1より 小さいか、さいごまで たしかめる（大きく なるなら もう 1つ 上の くらいから かりる）。
② こたえ＝−（かりた くらいの 1が あらわす 数 − そろばんの 数）
③ 補数：いちばん 右の 0で ない 数字は 10から、その 左は かりた くらいの すぐ 右まで 9から ひく。右の 0は そのまま。れい：8,000（万から かりた）→ −（10,000−8,000）＝−2,000
④ くり上がりが かりた くらいに とどいたら、1を かえして ふつうに よむ。

1 赤字の そろばんを よんで、こたえを かきましょう。

1つ5てん（20てん）　きほん

(1) 3700　万から かりた　［　　］
(2) 6315　万から かりた　［　　］
(3) 72940　十万から かりた　［　　］
(4) 905168　百万から かりた　［　　］

2 れい：とちゅうで 赤字に なる 見取算

とちゅう 1つ5てん・こたえ 10てん（30てん）　きほん

42615
−87930
23408
60352



42615を おく → 87930を ひく（十万に 1を かりる） → 23408を たす → 60352を たす（1を かえす）

① 数は 5けたまで → 十万から かりる（かりた 1＝100,000。とちゅうの マイナスも これより 小さい）。42615−87930 → そろばん［　　］。こたえ＝−（100,000−そろばんの 数）＝［　　］

② 23408を たす → そろばんは［　　］（まだ 赤字）→ こたえ＝−（100,000−そろばんの 数）＝［　　］

③ 60352を たす → くり上がりが 十万の くらいに とどいて、かりた 1を かえす → こたえ［　　］

3 たての しきを けいさんしましょう（赤字に なる もんだい）。

1つ10てん（50てん）　きほん

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
6857	43870	90674	8252	20118
1357	−47173	86974	−29158	92169
1479	72013	−264254	71003	2691
−134922	74203	−8463	6500	−742315
−89735	−45372	−384145	27693	1153
7381	−5175	6611	6489	87398
−91880	7887	−1911	−94023	−8692
253736	71374	5961	218383	−45393
［　　］	［　　］	［　　］	［　　］	［　　］

※ (1)(3)(4)(5)は 百万、(2)は 十万の くらいから 1を かりる（どれも さいごまで けいさん できます）。

✎ こたえの 整数の ぶぶんは、3けたごとに コンマ（,）を つけましょう。コンマと 小数点（.）を くべつして かきましょう。

おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！